

# 千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和2年(2020)10月31日

## 11月号

URL: [www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/](http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/)

学校教育目標『自分で考え 表現し 挑戦し続ける子』



## アンテナを高く

児童支援専任 佐藤 学

朝夕の冷たい風が身に染みる今日この頃。天候が心配でしたが、何とか秋季運動会を終えることができました。最後まで、温かな目で見守ってくださり、保護者の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。

「やればできる！」この言葉を象徴していた今年の運動会。コロナ禍でたくさんの制限、縮小を余儀なくされても、この状況を「バネ」に変え、6年生中心に「全力」を尽くせた10月11日でした。

昨年とは違った立場から全校児童一人ひとりを見ることができました。「喜ぶ表情」「悔しがる表情」・・・これは毎朝正門で挨拶を交わしている時の表情とはちょっと違い、新鮮でした。

千秀の子どもたちは今回「運動会でしか味わえない経験」を積みました。間違いなく「自信」となり、その自信はこれからの生活にきっと生きてくると信じています。

さて、10月13日、「飯島中学校ブロック子ども人権会議」に6年の大村さんと高谷さんと一緒に参加をしました。その会議の中で「なぜいじめはダメなのか？」という議論がありました。正直、大人である私も即答できる問いではなく、深く悩みました。皆さんはどう思いますか？参加した中学生、6年生は自分なりに考え、意見を出し合う中で「いじめには2種類ある。故意(わざと)に相手を傷つけるもの、そして気付いていない中で相手を傷つけているものがある」という声が上がりました。

どちらにしても「いじめは絶対に許さない」ですが、「クラスの中で、もし相手を傷つけていることに気付いていない人(友達)に対して何かできることはないかな？」と考えた時に、どんなことができるのでしょうか。児童支援専任として、9月中旬、全校に向けたテレビ朝会でこんな話をしました。

『友達に対して、自分に対してアンテナを高くもち、何かあったときには、大人を頼っていいんだよ、話をしてね』

どうしても、大人(先生)に言うことが、悪いこと・マイナスイメージを抱きがちですが、「そうではない、いつでも頼っていいし、そのために大人がいるんだよ」と伝えました。これは、学校の姿勢はもちろんのこと、ぜひご家庭でも、お子様の話に耳を傾けていただければと思います。

千秀教職員一同、千秀の子どもたちが「楽しく」学校に通えるように、毎日を全力投球で子どもたちと向き合っています。対応に100点満点は難しいことかもしれませんが、何かあったときに、しっかりと向き合い、話を丁寧に聴きます。そして、「とにかく子どもたちに、一人ひとりに声をかけよう」と全教職員で共有しています。担任はもちろんですが、担任だけでなく、全教職員が積極的に声をかける意識をもち、毎日子どもたちを迎えています。